

『リワーク広報誌』とは…

復職に向けたプログラムの一つをピックアップし、リワークの利用者がどのように感じているのかを紹介するものです。

10月3日 月イチレクリレーションを行いました。

【月イチレクリレーションとは？】

段階の進んだリワーク参加者において、月一回行うレクリレーションを計画し、実施するプログラムです。

【目的】

絵で伝言ゲームを行うことで想像力を養い、チーム内での意思疎通の練習を目的とする。

今回の内容は、『お絵かき伝言ゲーム』というゲームです。

最初の人ホワイトボードに書かれたお題を見て絵を描きます。書いた絵を次の人に見せて、次の人はその絵を見てお題が何かを想像して絵を描きます。これを繰り返して絵で伝言して行き最後の人は、ホワイトボードに書かれたお題が何かを当てるゲームです。

「たった一つの絵でこんなに盛り上がるなんて…」

今回、運営として司会進行を担当しました、リワーク参加メンバーのYです。

私の性格上、「みんなを楽しませなきゃ！」「盛り上げなきゃ！」と変に気遣いしてしまう部分があるのですが、今回はぐっとこらえて、司会進行のマニュアル通りに秒数のカウントダウンだけを集中して進行しました。

企画がしっかりしていたおかげか、無理に「盛り上げよう！」などしなくても参加メンバーがゲームに集中し自然と楽しい雰囲気を作り出している様子に、私もまた「無理しなくてもいいんだ」という気づきをゲームの運営を通して気付くことができました。

《参加者の声》

♪ 伝えたいことを誰が見て絵も理解できるようにまとめることの練習になると思う。

♪ 実際仕事上でも、いかに特徴を伝えるかということは日常茶飯事のことので特徴の捉え方の練習になった。

♪ 今までだったら必要な意見であっても自分では発信できなかったと思う。

♪ 人に伝えるのは難しく、自分の思い込みが入ってくるので相手に理解してもらえるようにしていきたいと思った。

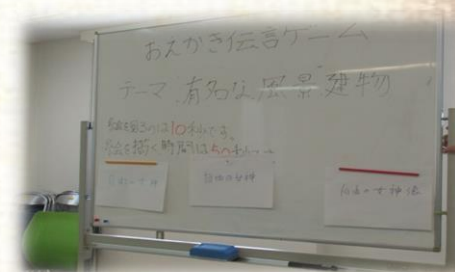
♪ チーム内で絵をかく順番や回答者を誰にするかといった作戦をとるためのコミュニケーションを学ぶ機会になった。

♪ ポイントを押さえて、要領よく相手に伝えることの大切さにも改めて気づくことができ良かった。

♪ 絵を他人に見せることに少し抵抗がありましたが、開き直って逆に楽しむことができた。

♪ 不得意な絵描きだったため不安でしたが、いざやってみるとチームの想像力に助けてもらい楽しむことができた。

伝わるかな…



《修了者からあなたへ伝えたい言葉》

「積極的に何かを得ようと頑張るほど得るものは大きい」